新型コロナウイルス禍の影響調査

令和2年4月　SC北海道ネット

【北海道内における新型コロナウイルス感染症に関する経緯】

○　1月28日　　道内初の感染者確認（中国武漢市在住者）

○　2月14日　　道民初の感染者確認（札幌市在住）

○　2月26日　　北海道教育委員会より2月27日～3月4日までの道内小・中・特別支援学校への休校要請

○　2月28日　　これまでに感染者60人以上。都道府県別国内最多となる

鈴木直道北海道知事が**「新型コロナウイルス緊急事態宣言」**を発表

→　3月19日までの活動自粛要請

→　文科省からの通知により、春季休業までの休校要請

○　3月20日　　**「新たなステージ」**へ

→　拡大防止の取組を行いつつ、社会経済活動を行う「北海道モデル」の確立

○　4月12日　　道内の新たな感染者が5日連続で二桁となり、**「北海道・札幌市緊急共同宣言」**発表

→　4月14日～5月6日まで札幌市立小中高校及び近隣道立高校の臨時休校　　他

【調査主旨】

新型コロナウイルス感染症の広がりは道内各地の総合型地域スポーツクラブの運営に様々な影響を及ぼしていると推察された。

各種スポーツイベントにおける感染拡大防止策については、スポーツ庁の考え方が配信され、3つの条件（密閉、密集、密接）が重なる場の回避などの対応が伝えられており、経営面も含めた総合型クラブの今後については、熟考する局面になった。

そこで、クラブとして、また連携組織として「何ができるのか」「何をすべきか」「どんな対策が有効か」などを考え、情報を共有するため、その前提となる現状把握のアンケートを実施することとした。

【対象】

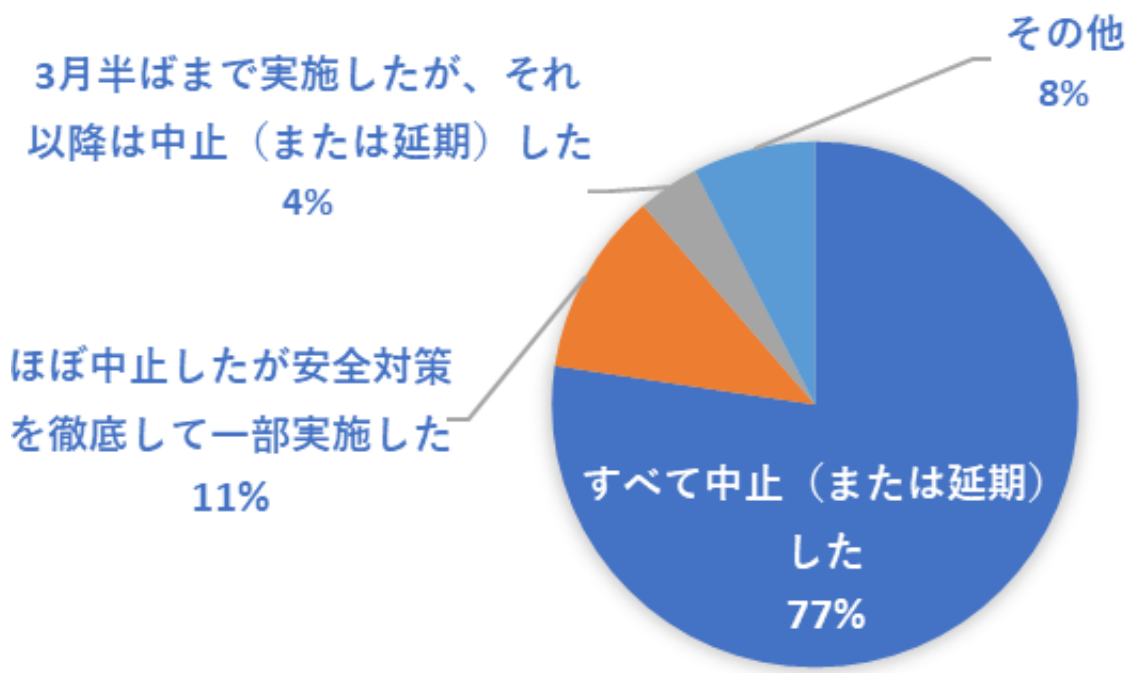
令和元年度SC北海道ネット加盟クラブ（全74クラブ）　　53クラブより回答

【調査期間】

令和2年3月31日（火）～4月10日（金）

Q1．貴クラブは3月期、感染予防対策として主催事業（教室・イベント）を中止・延期しましたか？

すべて中止（または延期）した	41	77.4%
ほぼ中止したが安全対策を徹底して一部実施した	6	11.3%
3月半ばまで実施したが、それ以降は中止（または延期）した	2	3.8%
予定通り開催した	0	0.0%
その他	4	7.5%

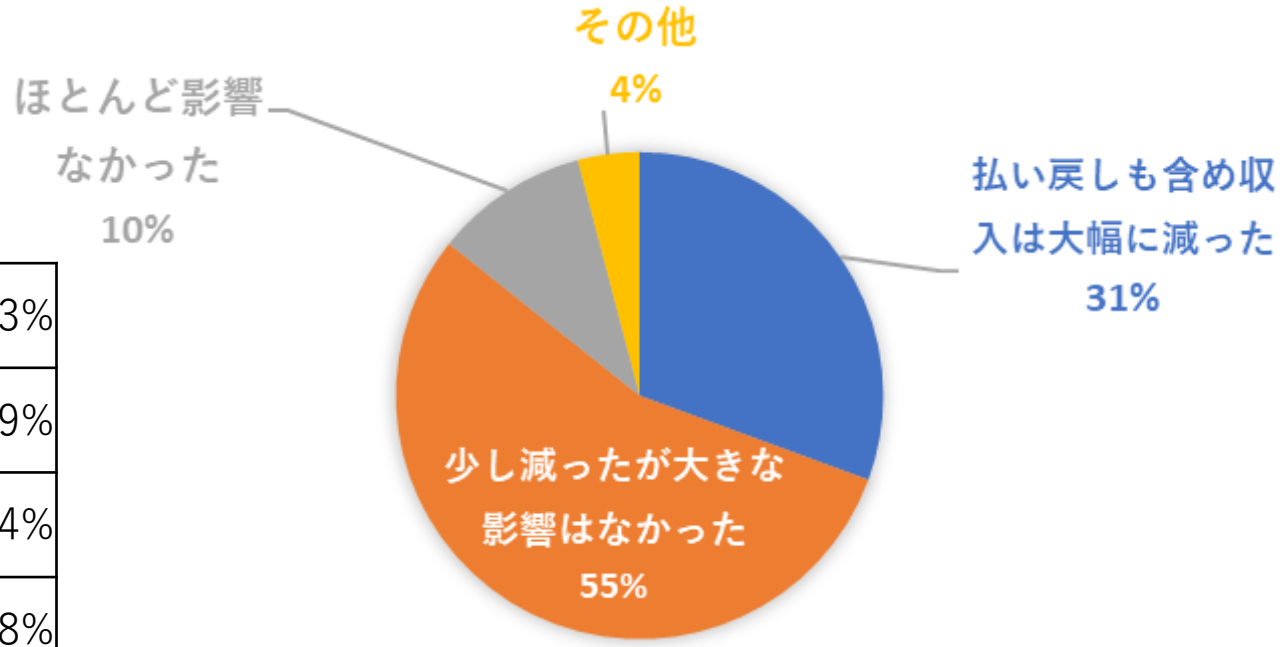


※ 「その他」は、ほとんど「3月活動なし」

※ 「その他」を除くと全クラブが中止・延期を判断。速やかに感染リスクを回避

Q2. 中止または延期と答えたクラブに質問します。中止や延期で参加料などの収入は減りましたか？

払い戻しも含め収入は大幅に減った	15	28.3%
少し減ったが大きな影響はなかった	27	50.9%
ほとんど影響なかった	5	9.4%
その他	2	3.8%



※　収入面で3分の1が「影響あり」だが、「大きな影響ない」半数は意外

※　ただ、新型コロナ禍が長引けば深刻な事態になる可能性大

※　「その他」は「3月に収入を見込んだ事業なし」

Q3. 中止または延期と答えたクラブに質問します。雇用している人の賃金はどうされましたか？

中止した分を減額した	3	5.7%
一部減額した	1	1.9%
全額支払った	21	39.6%
国の休業手当制度を活用した	0	0.0%
その他	23	43.4%

※ 「その他」の多くは、「雇用なし」「謝金として対応」など

※ 「中止分は支払いなし」のクラブも

Q4. 4月以降の主催事業はどうする予定ですか？

安全が確認されるまで中止（または延期）する	12	22.6%
安全対策を万全にして開催する	18	34.0%
まだ判断しかねる	10	18.9%
その他	14	26.4%

※　調査時点で「安全対策を万全にして開催」が34%

※　ただ「安全確認」を含め、多くのクラブが再開判断に悩んでいる実態が浮き彫り

※　行政と相談、調整して判断するクラブも多くあった

Q5. 今般の新型コロナウイルス禍は貴クラブの今後に影響を及ぼしますか？

クラブの存続にかかわるほど重大な影響を及ぼす	4	7.5%
影響を及ぼすが新型肺炎が早めに収束すれば乗り越えられそうだ	21	39.6%
ある程度影響するが、クラブの存続を脅かすものではない	18	34.0%
現状ではクラブの経営に影響ない	6	11.3%
その他	4	7.5%

※　「乗り越えられそう」「存続脅かさない」「影響なし」計85%。調査時点では楽観的？

※　ただ状況は変化しており、今アンケートすれば真逆の回答になるかも？！

Q6. 施設管理受託クラブに質問します。施設は休館になりましたか？

（14クラブ中）

休館し現在も継続中	2	14.2%
休館したが再開した	4	28.5%
休館しなかった	6	42.8%
その他	4	28.5%

※　指定管理施設の休館判断は行政だが「休館しなかった」43%は、多い？少ない？

※　Q5のように、調査時点で楽観的に判断して休館しなかった可能性大

Q7. 休館した施設の管理者に質問します。使用料収入はどうなりましたか？

（6クラブ中）

減収、補填なし	3	50.0%
減収だが一部行政補填あり	0	0.0%
減収分はすべて行政補填	0	0.0%
その他	4	80.0%

※　指定管理施設でのアクシデントによる減収は契約上は協議事項

※　金額が多ければ補正を要求すべき

※　今後の新型コロナ禍の進展によっては大幅減収、不安増幅

Q8. 開館している施設では利用者が減ったと推測しますが、減収分はどうなりましたか？

（12クラブ中）

減収、補填なし	5	41.6%
減収だが一部行政補填あり	0	0.0%
減収分はすべて行政補填	1	8.0%
その他	5	41.6%

※　Q７に同じ

Q9. その他、どのようなことでも構いません。ご意見をお書きください。

- 新型コロナウイルス禍が長引くことでの指定管理施設の使用料収入減が心配。

- 長期間スポーツ活動での収入が見込めなくなる可能性は十分ある。それ以外での収入源の確保も考えていく必要あり。

- 体育館の管理では現場の実態と行政の方針に食い違いが多く、感染拡大防止のための措置のはずが…と疑問に思う場面があった。
- 職員の給与に大きなダメージはなく、施設管理人の賃金については休館期間1人当たり1～1.5時間の時間短縮勤務で対応をお願いした。
- 休館措置により時間的余裕ができ新年度に向けた準備期間ができ逆に良い方向に働いた場面もあった。大変なクラブもあるのに複雑…。

- 各カテゴリー毎のスタッフにより新型コロナウイルス感染予防対策マニュアル書を作成し共有を図っている。

- 開催の判断や会場との調整等が個々人に任されており、迷いが生じてかなりなストレスとなっている。
- 新年度もtotoの助成金を受ける予定だがオリンピック延期などの影響で査定に影響が出ないかが心配。

- 中学校の外部指導をしているが、今後、学校との調整がバラバラであった時クラブの練習との調整が上手くできるか心配。

- コロナ関係のリスク管理について、指定管理施設を抱えている当クラブが行政に対し先行した形で対応を提案した。
- 指定管理施設の営業損失は、要因が不可抗力のため基本協定書に基づき町と協議している。
- スキー場など休業期間中の職員については、極力、有給の処理を推奨した。
- 休業期間中、施設の消毒作業、普段できないミーティング、施設整備、研修等の時間に充当した。

- 体育館が使えない…ので、屋外で運動遊びを行う！！ゲーム依存になっている？！と早く子どもたちを解放。

- どのタイミングで事業を再開するのがベストなのかわからない。

- 3月は契約変更を強いられ未収入。4月以降も委託そのものがどうなるか未定。5月まで長引けばクラブが持たない。

- クラブの登録認証制度の移行がスムーズにできるか心配。登録認証制をもう1年猶予できないか。

- 臨時休館での損失見込約100万円。教育委員会に相談しクラブ独自の修繕費(未払い分）の一部を補填してもらうことになった。

- 委託事業の延期や中止が続き収入が減るとクラブの存続も大変になる。新年度が不安。

- 母体ＮＰＯのアウトドア体験業務が深刻。3月中来道する観光客、修学旅行の大規模キャンセル、夏季に向けても予約状況は不振。
- 規約に「感染症拡大防止対策による事業中止に伴う参加者負担金の取り扱い」を加えることを検討したい。
- 市の感染症危機管理対策本部から出される情報に注視しながら今後を考えていくことになる。
- インストラクターと委託業務契約を結んでいるため、厚労省の補助金に該当しなかった。
- 5月以降クラブマネジャーを雇用する予定なので非常に不安。
- 施設の指定管理を受けており、全額補填を望んでいる。
- 金に目がくらんだ人間が、好き勝手に自然を破壊し続けた罰。遅かれ早かれ当然の結果だと思っている。なるようにしかならない。
- 全スポーツ関係者がスポーツだけでなく、環境問題について学ぶキッカケになればいい。